

Joint Japan-US Symposium on Assessment, Management, and Governance for Infrastructure Resilience

オンライン 日米合同シンポジウム 「インフラ・レジリエンスのための評価・管理・ガバナンス」 4月14日(水) スタート!

2019年5月に当会と米国土木学会(ASCE IRD)の連携にて「第1回インフラ・レジリエンスに関するシンポジウム」を開催し、初めてインフラ・レジリエンスのフレームワークを紹介いたしました。インフラ・レジリエンスのフレームワークは、甚大化する自然災害による社会インフラや経済活動への影響を軽減を目指し、コミュニティの視点から、様々な要素のレジリエンスを考え、社会全体のレジリエンス強化・向上を図る枠組みです。

今回のシンポジウムでは、これまで両学会にて研究および収集した事例とともに再度フレームワークの概念を説明し、社会におけるインフラ・レジリエンスの重要性と今後の取組みを多角的に議論いたします。

座長・講演者: 小林 潔司 (京都大学経営管理大学院特任教授、第106代土木学会会長)
小池 俊雄 (水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM) センター長)
ビラル・アユーブ (メリーランド大学教授)
クレイグ・デイビス (C. A. Engineering, 元ロサンゼルス市水道電力局)
ジョン・ヴァン・デ・リンツ (コロラド州立大学教授)
多々納 裕一 (京都大学防災研究所教授)
高橋 良和 (京都大学大学院教授)
本田 利器 (東京大学大学院教授)
大西 正光 (京都大学防災研究所准教授)、他

本シンポジウムのウェブサイト(<https://www.infraresil.jp/event/01/>)に講演者のプレゼンテーション(動画)をアップいたします。併せてご覧ください。

2021年4月14日(水)、16日(金)、28日(水)、30日(金)
8:00~9:30 日本時間

オンライン形式(ZOOMウェビナー)

主催: (公社)土木学会 国際センター (東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内)

参加費: 無料

参加登録: <http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>



※本行事はCPD認定プログラムです。全4セッション受講が対象となります。(認定番号: JSCE21-0332)